

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成22年11月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

● **需要面・・・個人消費は、低調ながら、一部に持ち直しの動きがみられる。**

大型小売店販売額(店舗調整後)は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(8月)

新設住宅着工戸数は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額は前年を下回った。(9月)

● **産業面・・・鉱工業生産は、足踏み状態。**

鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を下回ったが、原指数は前年を上回った。(8月)

● **雇用面・・・雇用情勢は、厳しい状況にある。**

きまって支給する給与、所定外労働時間ともに前年を上回った。(8月)

求人倍率は、有効、新規ともに前月を下回った。新規求人数は前年を上回った。(9月)

○ **需要面の動き**

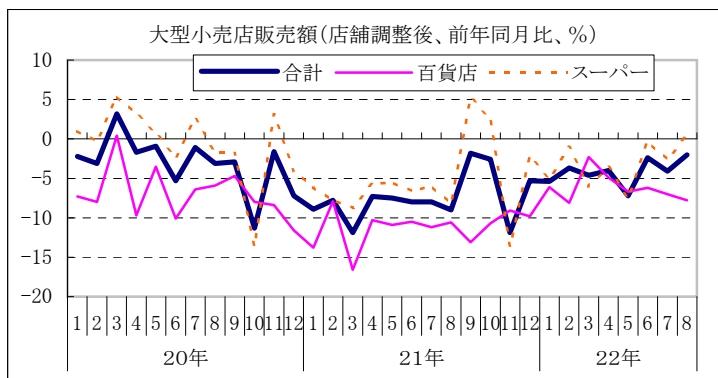
大型小売店販売額(8月)

全店舗の販売額は、57億100万円(前年同月比2.8%減)と2か月続いて前年を下回り、店舗調整後も29か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

| | 販売額(万円) | 前年同月比 | |
|------|---------|-------|--------|
| 合計 | 570,100 | ▲2.8 | (▲2.0) |
| 百貨店 | 159,200 | ▲7.8 | (▲7.8) |
| スーパー | 410,900 | ▲0.8 | (0.5) |

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(8月)

39億9,700万円(前年同月比11.4%増)と12か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(9月)

2,016台(前年同月比0.6%減)と16か月ぶりに前年を下回った。普通車、小型車の区分は16か月ぶりに前年を下回ったが、軽自動車は6か月続いて前年を上回った。

新設住宅着工戸数(9月)

195戸(前年同月比15.4%増)と3か月続いて前年を上回った。持家系(前年同月比39.8%増)は前年を上回ったが、貸家系(前年同月比14.5%減)は前年を下回った。

用途別着工建築物工事金額(9月)

7億3,300万円(前年同月比29.7%減)と前年を下回った。用途別では、医療・福祉(前年同月比135.0%増)等で前年を上回り、卸売業・小売業(前年同月比36.4%減)等で前年を下回った。

公共工事請負金額(9月)

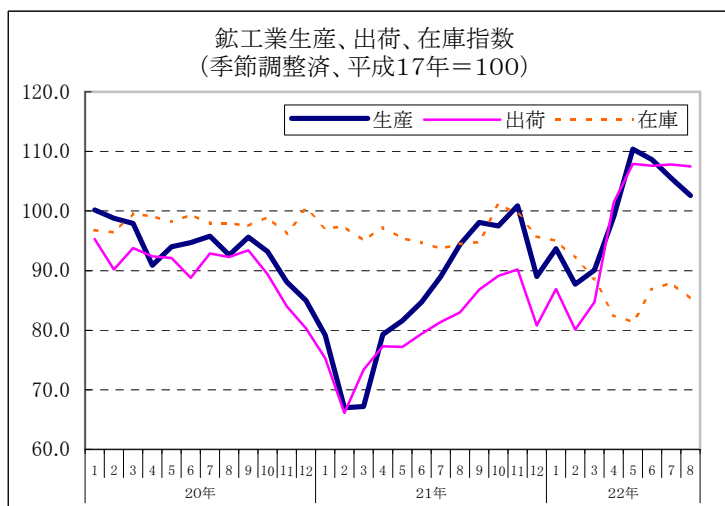
66億7,600万円(前年同月比45.9%減)と3か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比77.9%減)、県(前年同月比50.0%減)で前年を下回ったが、市町村(前年同月比59.7%増)は前年を上回った。

○ **産業面の動き**

鉱工業指数(8月)

生産指数(季節調整済)は102.6(前月比2.7%低下)と3か月続いて低下となり、原指数は94.3(前年同月比11.5%上昇)と13か月続いて上昇となった。

内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが7.6%低下となり2か月ぶりの低下、電子部品・デバイスが6.9%低下となり3か月連続の低下、電気機械が3.4%上昇となり2か月連続の上昇、一般機械が5.9%上昇となり5か月連続の上昇となった。在庫指数(季節調整済)は85.3と前月比3.1%低下した。



大口需要電力実績(8月)

140,006kwh(前年同月比6.8%増)と3か月続いて前年を上回った。鉱工業用の大口需用電力は主要4区分全ての区分で前年を上回った。

青果物卸売量(9月、鳥取市場)

野菜が1,475t(前年同月比13.1%減)と9か月続いて前年を下回り、果実は1,059t(前年同月比19.2%減)と2か月続いて前年を下回った。

漁獲量(9月、境港)

7,903t(前年同月比20.7%減)と4か月続いて前年を下回った。

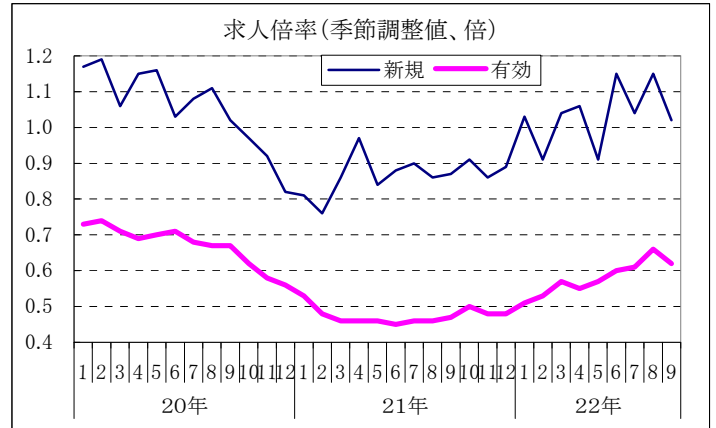
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(9月)

1.02倍(前月差0.13ポイント低下、前年同月差0.15ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、3,490人(前年同月比7.2%増)と2か月続いて前年を上回った。

有効求人倍率(9月)

0.62倍(前月差0.04ポイント低下、前年同月差0.15ポイント上昇)となっており、4か月続いて0.6倍台となった。



現金給与総額(8月)

256,387円(前年同月比1.9%増)と2か月続いて前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、244,671円(前年同月比1.7%増)で5か月続いて前年を上回った。

所定外労働時間(8月)

8.0時間(前年同月比12.7%増)と9か月続いて前年を上回った。主力の製造業は34.9%増となった。産業別の前年同月比では、複合サービス事業(前年同月比16.7%増)等で前年を上回り、電気・ガス・熱供給・水道業(前年同月比25.7%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(8月末)

預金残高は、2兆91億円(前年同月比2.5%増)と20か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,431億円(前年同月比0.4%増)と16か月続いて前年を上回った。

○参考

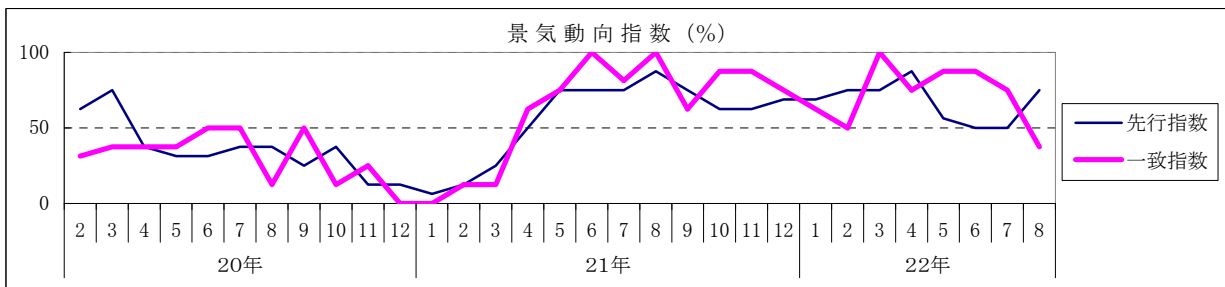
鳥取県景気動向指数(8月)

先行指数75.0%、一致指数37.5%、遅行指数50.0%となった。

先行指数は17か月続いて50%以上となった。

一致指数は17か月ぶりに50%を下回った。

遅行指数は4か月続いて50%以上となった。



企業倒産(9月)

件数は2件で前年と同水準、負債総額は1億1,700万円(前年同月比26.9%減)で前年を下回った。

消費者物価指数(9月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.2となり、前月比(0.3%)は上昇、前年同月比(▲0.6%)は低下した。

鳥取県の推計人口(10月1日現在)

587,772人で、前月と比べて207人(0.04%)減少し、前年同月と比べて3,378人(0.57%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成22年8月調査)

平成22年7~9月期は、平成22年4~6月期に比べると、景気及び経常利益がやや不調、売上高がやや好調となっている。

平成22年10~12月期は、平成22年7~9月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもがやや好調となる見通しとなっている。